

河川データ製品仕様書  
応用スキーマ

平成 26 年 4 月

国土地理院

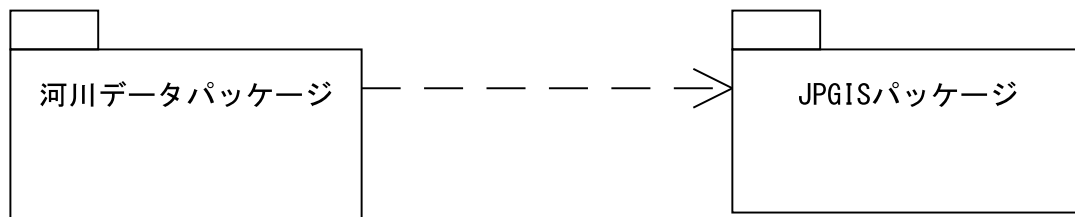
## データ内容及び構造

---

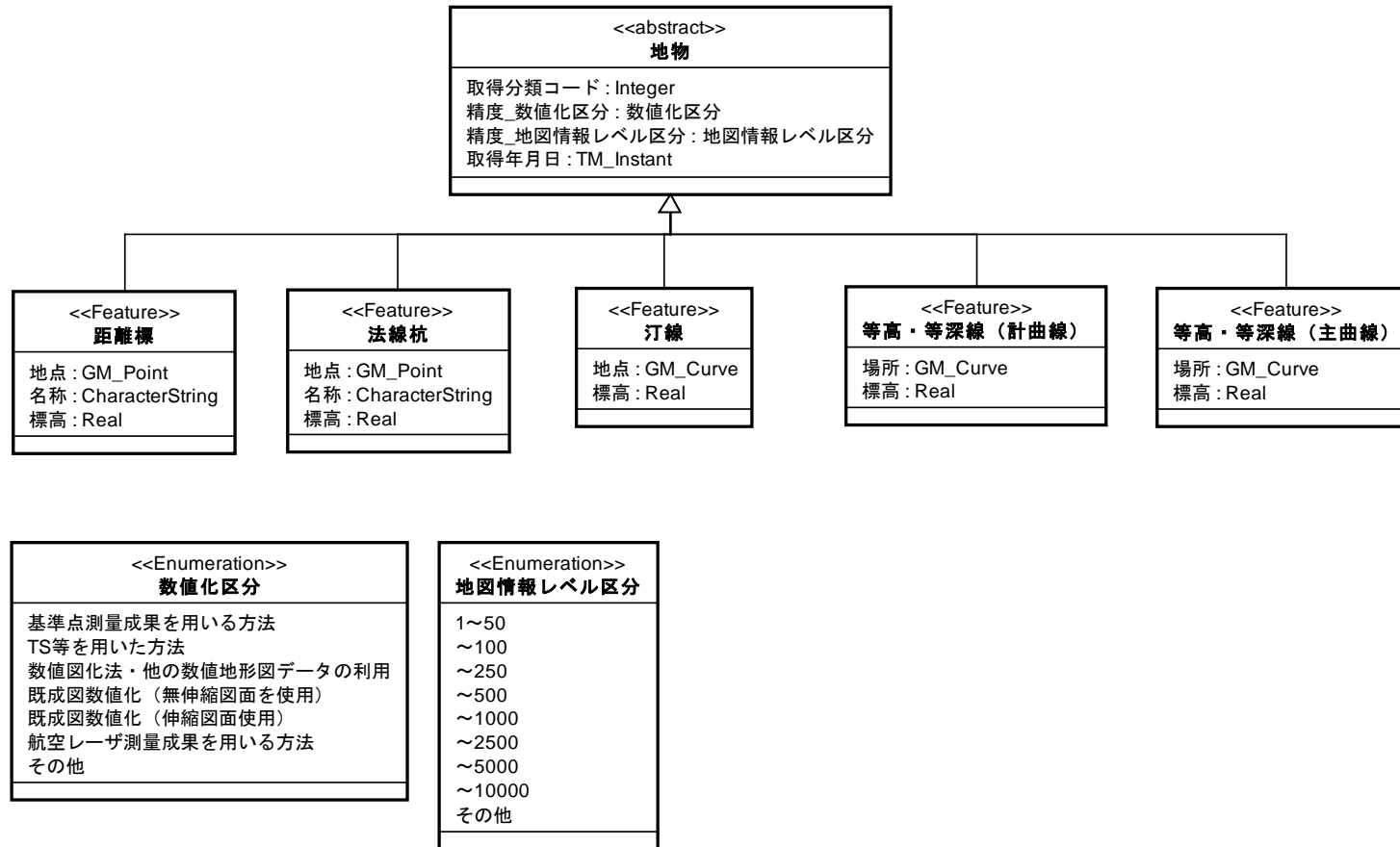
### 応用スキーマ UML クラス図

---

#### 河川データ応用スキーマパッケージ図



河川データ応用スキーマクラス図



## 河川データパッケージ (RiverSurveyPackage)

### 定義

---

河川測量。

### 対象地物

---

地物、距離標、法線杭、汀線、等高・等深線（計曲線）、等高・等深線（主曲線）。

### 注意事項

---

## 地物 (Feature)

### 定義

---

河川データとして定義される全ての地物。

上位クラス：

---

抽象/具象区分： 抽象地物

---

### 属性

---

#### 取得分類コード [0..1] : Integer

国土交通省公共測量作業規程の数値地形図データ取得分類コード。

<取得基準>

地物定義に記載した取得分類コードを取得する。

<定義域>

5255、5501、5511、7101、7102

#### 精度\_数値化区分 [1] : 数値化区分

測量の方法。

<取得基準>

汀線、等高・等深線（計曲線）、等高・等深線（主曲線）は、「その他」を選択する。

法線杭は、「TS等を用いた方法」を選択する。

距離標は、図上設定した座標を用いる場合は「その他」を、既に設置されている距離標に対して座標値を確定する場合および現地の条件等で距離標を移動した場合は、「TS 等を用いた方法」を選択する。

※ 「TS 等を用いた方法」とは、RTK 法、ネットワーク型 RTK 法を含む。

< 定義域 >

基準点測量成果を用いる方法、T S 等を用いた方法、数値図化法・他の数値地形図データの利用、既成図数値化（無伸縮図面を使用）、既成図数値化（伸縮図面使用）、航空レーザ測量成果を用いる方法、その他。

#### 精度\_地図情報レベル区分 [1] : 数値情報レベル区分

地図情報レベル。

< 取得基準 >

距離標、水準基標、汀線、等高線、等深線は、「その他」を選択する。

法線杭は、「～250」を選択する。

< 定義域 >

1～50、～100、～250、～500、～1000、～2500、～5000、～10000、その他。

#### 取得年月日 [1] : TM\_Instant

計測及び計算した年月日。

< 取得基準 >

計測及び計算した年月日を取得する。

< 定義域 >

製品仕様書に示された時間の範囲内。(1.概覧の 1.4.時間範囲)

#### 関連役割

---

#### 距離標 (DistanceMark)

定義

河川測量における、河心線の接線に対して直角方向の両岸の堤防法肩又は法面等に設置する点。

【数値地形図データ取得分類コード：5255】

上位クラス： 河川データパッケージ：地物

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

属性

---

**地点 [1] : GM\_Point**

距離標の地点。

< 取得基準 >

地形図上で設定した距離標の座標をディジタイザ等で取得する。

既に設置されている距離標に対して座標値を確定する場合、および現地の条件等で距離標を移動した場合は、TS 等を用いた方法により座標を取得する。

< 定義域 >

製品仕様書に示された空間の範囲内。(1.概覧の 1.3.空間範囲)

**名称 [1] : CharacterString**

距離標の名称

< 取得基準 >

計算簿等に記載された距離標の名称を取得する。

< 定義域 >

128 文字以内とする。

**標高 [1] : Real**

距離標の標高値。河川ごとに定められた基準に基づく標高。

< 取得基準 >

定期縦断測量により得られた標高値 (m) を取得する。

m以下3桁とする。

< 定義域 >

-100m 以上 4000m以内。

関連役割

---

**法線杭 (AlignmentPeg)**

定義

---

河川測量における法線上に設置する標識。

【数値地形図データ取得分類コード：5501】

上位クラス： 河川データパッケージ：地物

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

属性

---

**地点 [1] : GM\_Point**

法線杭の地点

<取得基準>

法線測量により求められた法線杭の座標を取得する。

<定義域>

製品仕様書に示された空間の範囲内。(1.概覧の 1.3.空間範囲)

**名称 [1] : CharacterString**

法線杭の名称

<取得基準>

計算簿等に記載された法線杭の名称を取得する。

<定義域>

128 文字以内とする。

**標高 [1] : Real**

法線杭の標高値。河川ごとに定められた基準に基づく標高。

<取得基準>

法線測量により得られた標高値 (m) を取得する。

m以下3桁とする。

<定義域>

-100m 以上 4000m以内。

関連役割

---

**汀線 (ShoreLine)**

定義

汀線測量における汀線。

【数値地形図データ取得分類コード：5511】

上位クラス： 河川データパッケージ：地物

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

## 属性

---

### 場所 [1] : GM\_Curve

最低水面と海浜との交線。

<取得基準>

汀線を構成する点は、基準とする杭からの距離測定及び標高測定により求めた汀線の位置に合わせ取得する。

<定義域>

製品仕様書に示された空間の範囲内。(1.概覧の 1.3.空間範囲)

### 標高 [1] : Real

汀線の標高値。

<取得基準>

原則として海上保安庁が公示する最低水面の高さから取得する。

m以下2桁とする。

<定義域>

-100m 以上 100m以内。

## 関連役割

---

### 等高・等深線（計曲線）(IndexContour)

#### 定義

---

海浜測量における等高線・等深線の内、計曲線をいう。

【数値地形図データ取得分類コード：7101】

上位クラス： 河川データパッケージ：地物

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

## 属性

---

### 場所 [1] : GM\_Curve

海浜測量で求められた等高線・等深線の内、0mの主曲線及びこれより起算して5本目ごとの主曲線をいう。

<取得基準>

海浜測量で求められた等高線・等深線の等値線を取得する。

<定義域>

製品仕様書に示された空間の範囲内。(1.概覧の 1.3.空間範囲)



**標高 [1] : Real**

等高線（計曲線）の標高値。

<取得基準>

海浜測量より得られた標高値（m）を取得する。

m以下2桁とする。

<定義域>

-100m 以上 4000m 以内。

**関連役割**

---

**等高・等深線（主曲線）(IntermediateContour)****定義**

---

海浜測量で求められた等高線・等深線の内、主曲線をいう。

**【数値地形図データ取得分類コード：7102】**

上位クラス： 河川データパッケージ：地物

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

**属性**

---

**場所 [1] : GM\_Curve**

海浜測量で求められた等高線・等深線の内、平均海面から起算して±1mごとの等高線をいう。

<取得基準>

海浜測量で求められた等高線・等深線の等値線を取得する。

<定義域>

製品仕様書に示された空間の範囲内。（1.概覧の 1.3.空間範囲）

**標高 [1] : Real**

等高線（主曲線）の標高値。

<取得基準>

海浜測量より得られた標高値（m）を取得する。

m以下2桁とする。

<定義域>

-100m 以上 4000m 以内。

## 関連役割

---